

《6月21日の日食について》

6月21日に日食があります。この日食は、日本全国で部分日食として見えるもので、和歌山市では16時6分に太陽の左下から欠けはじめ、17時11分に最も大きく欠け、太陽の左下55パーセントが欠けて見えます。日食が終わるのは18時9分です。

この次に和歌山市で見える日食は2030年6月1日の夕方に見える部分日食であり、今年6月21日の日食を見逃すと今後10年間、日食は見えません。

日食を安全に観察するには、日食めがねなど太陽の光を減光して安全に観察するためのフィルターが必要です。こども科学館では日食めがねの工作教室や観察会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のために6月の各教室は中止となっています。それで、教室のために準備した日食観察用のフィルターを使い、こども科学館で日食メガネを製作してプレゼントすることにしました。300枚の日食めがねをご用意しましたので、以下の日にプラネタリウムをご覧くださいのお客様にさしあげます。枚数に限りがありますので、なくなり次第終了となりますこと、ご了承ください。

6月13日(土)、6月14日(日)、6月20日(土)、6月21日(日)
 プラネタリウムの投影開始時刻は、11:00、13:00、14:00、15:30
 各回定員61人

なお、日食めがねがなくても太陽が欠けていることを観察する方法があります。図のように1~2mmほどの孔(あな)をあけた厚紙を用いて、孔を通した太陽の光を白っぽい紙等に映(えい)じ、映(うつ)った形で太陽が欠けていることがわかります。木洩(こも)れ日による太陽の形も同様に日食時には欠けた形になります。

日食めがねがなくても日食を楽しむ方法

ピンホールでうつす
 太陽は反対にうつる。1~2ミリの小さなあな。
 白い紙

長い箱を作ってみる
 ピンホールの孔の大きさは、いろいろ試そう。孔が大きいと、太陽は明るく映るが、鮮明ではありません。
 ...このあたり、日食の日でなくても試して自由研究の良いテーマになります。

アクリル板に小さな孔をあける
 ラップの紙を
 レジ袋
 ↓太陽に向けると
 映ってる

木漏れ日に注目

■欠けた太陽の形の木漏れ日
 金環日食の時の部分日食が木漏れ日となって見えたもの。もちろん eclipse 日食の前後の部分日食や、7月22日の部分日食でも同様に欠けた太陽の木漏れ日を見ることができる。(2005年10月3日の金環日食の時に、スペインで大塚 治・和子さんが撮影)「星ナビ別冊/皆既日食マニュアル」の記事を改定したものです。提供: アストロアーツ

たくさん孔をあけると楽しい。
 太陽は箱の長さの1/100に映ります。
 数メートル離れたスクリーンや建物の壁などに太陽を映してみよう。
 テーブルで2cmにあさいでいる
 小さな鏡で太陽を反射させる